

にこにこ家族新聞

滑川市立西部小学校
令和元年12月2日

にこにこ家族で心もぽかぽか！

外はだんだんと寒くなり、冬本番も目の前まで迫ってきました。先日も「あつまれ！にこにこ家族」にご協力いただきありがとうございます。にこにこ家族カードの保護者欄には、毎月家族の方々から、心が温かくなるようなコメントをたくさん頂戴しております。子供たちの振り返りや、その子供たちへのエールともとれる家族の方々からのメッセージに、私たち教師も励まされ、温かい気持ちになっています。今月号では、11月の学習発表会やオープンスクールの際にも玄関に掲示していましたが、毎月寄せられる保護者の方々の心温まるメッセージの一部を紹介させていただきます。

家族からの励まし、感謝の言葉

- ・自分から進んでお手伝いをしてくれて一緒に楽しむことができたね。親子で温かい気持ちになれて嬉しかったね。
- ・時間がなくて手伝いさせてあげられなかった日もあったけれど、手伝うという気持ちが嬉しかったよ。
- ・「助かったよ、ありがとう」って言われるとすごく嬉しいねと親子でにこにこになりました。
- ・自分の仕事と思って、進んでできていてとてもかっこよかったし、助かりました。
- ・掃除や配膳の手伝いも嬉しかったですが、ママの失敗も笑って許してくれる優しい気持ちが嬉しくて、にこにこハート100点です。
- ・ご飯の準備、妹の世話、よくしてくれてとても助かりました。すごく頼もしいです。いつもありがとう!!
- ・前回の時よりも何も言わなくても自分から「手伝いすることある？」と手伝ってくれました。弟のよい手本になってくれました。
- ・洗面所の掃除以外にも夕食の手伝いや気付いたことを手伝ってくれて嬉しかったです。ありがとう。
- ・進んで風呂掃除をしてくれました。何回かやるうちに楽しくなったようで「風呂掃除担当」になっています。一つでも任せられる家事があるととても助かります。
- ・ありがとうと伝えたら、すごく照れて嬉しい顔をしていて、こちらまで嬉しかったです。
- ・手伝いを通して、人の役に立ちたいという気持ちが芽生えてきたようです。とても嬉しい気持ちになりました。
- ・重い荷物を持ってくれたり、母がいつもしていることに気付いてくれたりと、家族のことを気遣って動いてくれました。ありがとう。

ここで紹介したのは、集まったメッセージのほんの一部です。
ここから感じることは、家族の方が、子供たちのがんばりに助けられている場面が出てきているということです。
「できないだろう」「大人がした方が早い」と感じていたことも、やらせてみると案外できるものです。
まさに子供の成長を感じる瞬間ですね。

一方、「もっと出来るようになってほしい」という願いの声も届いています

緊急アンケート！

- ・スイッチが入ればきばきとやってくれました。毎日の習慣になってくれるように頑張ってもらいたいです。
- ・自分からできるようになってほしいです。
- ・にこにこ家族の週間だけでなく、手伝いをしてくれるとありがたい。
- ・毎日ちょっとしたことでもしてくれると助かります。
- ・言われなくても動けるといいね。
- ・頼んだ手伝いぐらいしてくれると助かる。
- ・お手伝いをさせてあげる時間の余裕がなくて、させてあげてこなかったのが、子供もどうすればよいか困っています。

僕、私も家族の一員だという自覚を身に付けさせたいですね。

親がやった方が早いのはわかるのですが、やらないといつまでもできないままかもしれません。簡単でもいいので、何かひとつ仕事を分けてあげられませんか。

左記に記述したように、手伝いをさせるにも、どう子供に伝え、どうやる気を起こさせればよいのか困っている保護者の方もおられます。もし、ご自身の体験から何かアドバイスしていただけることがありましたら、切り取り線より切り取っていただき、是非生の声をお聞かせ下さい（無記名）。

切り取り

子供に「手伝いしよう」という気持ちを起こさせる声かけ等

「子供にさせてよかった」と感じている手伝い（内容と理由）